

第2回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

平成28年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が10月13日(木曜)10:30から美深町役場大会議室において開催され、委員16名と町理事者、各課長等あわせて31名が出席しました。

会議では、1つ目に第5次美深町総合計画の平成27年度における事業の実績説明、2つ目は8月に行政評価町民委員会で議論された行政評価の結果説明、3つ目に地方創生事業の実績説明、それらの報告事項の後にまちづくりに関する意見交換を行いました。

会議の内容

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1)山崎議長あいさつ | |
| (2)山口町長あいさつ | |
| (3)第5次美深町総合計画(平成27年度事業実績)について | -① |
| (4)平成28年度(平成27年度事業)行政評価結果について | -② |
| (5)地方創生事業実績について | -③ |
| (6)まちづくりの推進についての懇談 | -④ |



会議の様子

①第5次美深町総合計画(平成27年度事業実績)について

平成27年度の事業実績報告では、総合計画の実績額として28億1,733万円の執行額の状況(計画に対する執行率93.7%)や、町の資金借入である地方債についての説明が行われました。

主な事業内容の説明としては、水道設備等工事(菊丘浄水場)、ごみ埋立処分場広域整備事業、道路・橋梁工事業、消防車両装備等の更新など、主要事業の事業費、過疎債の充当状況を計画・実績と対比しました。

また、平成27年度の総合計画掲載事業数は218事業のため、他事業は大項目別の総括説明となりました。

なお、これらの一部事業実施箇所及び平成28年度に進行中の事業は、同日午後から開催された「まちづくり研修会」の視察先にもなっていたため、委員の皆様においては、より具体的に事業内容をイメージできる説明となりました。

②平成28年度(平成27年度事業)行政評価結果について

平成27年度の評価実績としては、1次評価218事業、2次評価102事業、3次評価(行政評価町民委員会)31事業の評価が行われました

評価の結果としましては、A評価22施策(71%)B評価9施策(29%)C及びD評価は0評価となりました。

③地方創生事業実績について

平成27年度の地方創生事業は「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」として5,947万円が国から交付されました。

主な事業は商工業担い手支援事業、プレミアム付商品券発行事業ほか計8事業が実施されました。

なお、これら8事業は「まち・ひと・しごと創生推進会議」において「一応の成果が見られた」という評価となりました。

<出席委員からの主な質疑・意見>

●男女参画推進事業について

委員～男女参画推進事業実績ゼロだが、具体的にどのような事業内容なのか？

教育次長

女性も男性と一緒に社会参加を推進していく事業で女性の社会参加を高めていく目的である。事業的には男女共同の講演会などの予算であるが、そのような講演会などを実施できなかったため実績がゼロになっている。

●菊丘浄水場の耐震化及び災害について

委員～菊丘浄水場の耐震化はわかるが、土砂災害、山が崩れた場合にどのような対策がなされているのか？

建設水道課長

浄水場の耐震化工事はH27～H28の2カ年で進めている。雨による土砂災害を防ぐため治水事業も進めている。

●空き家対策について

委員～町としての空き家対策は？異臭・除雪の問題もある。取り壊したいが交渉相手も見つからない。行政の対策はないか？

建設水道課長

個人住宅の取り壊しを行政で行うには厳しいハードルがある。最終手段は公共的に危険が伴う場合は止む無く行政代執行という形になる。町としても所有者への指導や交渉を重ねているが、今後も空き家は増加していくと想定している。町内の空き家の把握や所有者情報の収集など行政でも出来る範囲で空き家対策は進めて行きたい。

●火事の際の周知について

委員～火事の際は消防サイレンで火事の場所を知らせているが、防災端末を使った周知も必要では？

消防署長

各種懇談会や議会でも同じような指摘を受けている。通常消防の職員体制は4名で火災時は3名が出動し1名が通信に当たる。まずは火災を鎮火することが最優先であり、情報の発信にまで間に合わない状態のため、これからの協議事項としてしばらく時間がほしい。

●JRの赤字路線廃止について

委員～新聞紙上でもJRの赤字路線廃止が出ている。宗谷本線の今後の状況は？

町長

JRは本来の使命を忘れている。国であるとか道内選出の政治家とか、トップの部分に正しい情報は伝わっていない印象を受ける。サハリンのエネルギー開発、北方領土返還が国策として進展している一方で、JRの廃止は矛盾を感じる。宗谷本線活性化推進協議会など広域での運動を強めていかなければならない。18日の北海道町村長会議でも上川代表で発言してくる。

●単身者向け住宅について

委員～単身者向け住宅が少ない印象がある。町外から美深へ移住を希望しても公営住宅は入居制限があり独身寮も満室である。



④まちづくりの推進についての懇談

＜出席委員からの主な質疑・意見＞

建設水道課長

公営住宅は法律や条令の縛りもあり、単身者を入居させるわけには行かないため厳しい部分がある。民間活気に期待をしながら単身者向け住宅の整備も進めていかなければならない。町としても西町団地を含めた公営住宅政策をどう進めていくか総合的に判断していく。

委員～役場職員住宅は空いているところがある。逆に職員が職員住宅に入らずに良い公営住宅に入所しているという声が町民からも聞かれている。空いている職員住宅を若者向けに開放したらどうか？

総務課長

職員住宅は老朽化が激しく、入居している職員からも不評の声がある。施策の一つとしては、町が職員住宅を持つのではなく、民間型の住宅に切り替えていくのも一つの方法である。

●COM100の郷土資料室について

委員～COM100の郷土資料室は以前、パソコンなどの映像案内もあったが、現在は照明も暗く、寂しい印象がある。せっかく美深町のことを知ってもらう場所なので、改善したらどうか？

教育次長

同様の指摘を議会等からも受けている。平成30年、開基120年に向けて業者の意見を参考にしながら展示室も改善していきたい。

●観光振興に関する意見について

委員～観光振興に関する意見だが、美深アイランド、道の駅と素晴らしい施設があるが、町外の知り合いからキャビア・チョウザメが弱い印象がある。トロッコも上手く宣伝できないか？

総務課長

チョウザメ料理、キャビアを温泉・町内飲食店でコンスタントに提供できるようにしたい。もう少し時間を頂きたい。

●その他(情報提供)

町長

- 1) 山林の寄付の申出が増えている。用途指定など課題がない部分は引き受けたい。
- 2) ふるさと納税。ホームページ募集PR方法を変えてから順調に増えている。
- 3) 平成30年開基120周年を迎える。プロジェクトを立ち上げ記念イベントを検討したい。



大雨災害時における防災施設を見学
(美深9線緊急内水排水機場)
※同日午後 まちづくり研修会

